

Voices



ヴォーリスだより



- 特集 -

2021年度 入社式

巻頭言

「新年度を迎えて」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
院長 五月女 隆男



Vol. 150

2021年5月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。

— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「新年度を迎えて」



院長 五月女 隆男

いよいよ新型コロナワクチンの接種も始まり、市民の皆様もようやく一安心といったところでしょうか（実はこの原稿を書いている3月中旬にはまだワクチンの入手ができておらず、先行き不明の状態です）。医療従事者、高齢者、一般住民といった接種順序が早々と示されましたが、いまだにワクチンの安定供給には至っておらず、時期や順序の調整に関係機関が振り回されているのが現状であります。一人でも多くの住民の皆様にはワクチンが1日も早く届くように祈るばかりです。

思い返してみますと、昨年1月の観光客船のクラスターに始まってから日本中が引っ掻き回されたウイルス騒動でした。新型コロナウイルスの流行により、これまでの医療体制の脆弱性や新興感染症に対する備えのなさにあらためて気づかされ、政府、市町、医療機関がその対策に追われた1年といえます。普段にはあまり使われなかった用語が、ニュースだけでなく日々の生活にあふれたことにも驚きました。”クラスター”、”PCR”、”実行再生産数”などなど、現在では身近な用語となっています。裏を返せば、それだけこの感染症が一般生活に脅威をもたらし、全市民が理解を深める必要性があったということでしょう。

当院も地域PCR検査センターとしてその一翼を担い、住民の方々に少しでも安心して過ごしていただけるよう貢献してきました。滋賀県も他都道府県の例にもれず、各圏域の医療機関でクラスターが発生し、その制圧に多大なる労力をつぎ込まれていることが報道されるにつけ、当院としても対岸の火事とはとらえず、日々感染対策を強化、持続してきました。職員には病院勤務中だけではなく、家庭での感染対策、外食等の自粛など、医療従事者としてより一層の感染予防努力をお願いし、実践してもらいました。少し息抜きのできる日が早く訪れることを願っております。

ワクチン接種関連では近江八幡市圏域として、近江八幡市立総合医療センター、近江八幡市蒲生郡医師会と協力し、新型コロナウイルスワクチン接種を当院で施行できることは、全職員の地域医療に対する理解と地域貢献への意欲の賜物であると感謝しております。アナフィラキシーの問題も指摘されるワクチンですが、重症化予防、発症予防に多大なる貢献をするはずであり、一人でも多くの市民の皆様が接種されることを望んでおります。ワクチン個別接種会場として院内整備をすすめておりますので、安心して接種に来ていただければと思います。

さて、病院新築に関するニュースですが、3月13日に新築移転土地におきまして起工式を執り行いました。小西近江八幡市長、宮尾丸山町自治会長、大西北ノ庄町自治会長ほか関係各位のご臨席を賜り感謝申し上げます。来年11月に新病院オープン予定となっております。何よりも患者様、利用者様の利便性が向上すること、そしてよりよい療養環境を提供することを目的としております。工事期間中はご迷惑をおかけすることと存じますが、安全第一に工事を進めますので、ご協力よろしくお願いたします。

チャプレンだより⑫

神の言葉に建つ病院

チャプレン 中村 信雄

3月13日の朝、雨が降る中、新病院の建築工事を始めるにあたり起工式を執り行いました。そこでイエス・キリストが山の上で語られた言葉を分かち合いました。

「わたしのこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。」

(マタイによる福音書7章24-25節)

土台は見えません。そのため岩の上に建てた家も、砂の上に建てた家も、建物だけを見ると同じように見えます。しかし、いざ困難なことが起こった時に、その真価が問われるのです。キリストは、神様が土台となって、私たちを下から支えると言うのです。

65年前の写真があります。私たちと同じように起工式が執り行われました。ヴォーリズさんは、天に向かって指を差しています。新しい建物が、新しい働きが、天の神様の上に建つのだと語っていたと思います。私たちも同じです。見えない神様が土台となって、新しい病院が建てられるのです。順調なときには、その神様に感謝し働きを続けたいと思います。そして苦難のときには、神様の支えがあることを忘れないでいたいと思います。新しい病院も病める人たちに慰めをもたらし、体と心とたましいの健康が養われることを願っています。



平和館起工式でのW.M.ヴォーリズ

部署紹介

診療情報管理室

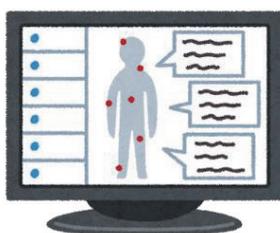
診療情報管理士 由井 裕子

昨年の9月に着任しました。着任当時は不安な事ばかりでしたが、周りの方々に支えられながら業務に励んでおります。

診療情報管理士の主な業務のひとつは診療録に関する諸記録（カルテ）の適切な管理・保存です。カルテの内容について、行われた医療行為に対して記載内容が正しいものか、必要書類は揃っているかなどの確認を行っています。これは、病院側にとって記録として残すためでもあります。患者さん側から開示の申し出があった際にいつでもきちんと説明が果たせるような記録を残すためでもあります。

他の業務では、診療内容（どのように受診し、どのような病気で治療を行ったかなどの内容）についてまとめた「DPC様式1」というデータを厚生労働省に提出するための作成も行っています。また、「退院時サマリーの管理」「スキャナー管理（電子化処理）」「診療録の監査」などの業務があります。

電子カルテが導入され、管理業務内容が大きく変化中、大切な情報を慎重に取り扱い、日々業務に取り組んでいます。



特集

2021年度 入社式

4月1日（木）入社式、就任式、新年度礼拝



桜満開の中、4月1日、入社式を執り行いました。

例年は礼拝堂にて入社式が行われますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ケアハウス信愛館の集会室にて執り行うこととなりました。

当院では、新入職19名、昨年よりの中途入職15名の総勢34名の皆さんを共に働く仲間として迎え入れることができました。

最初に、チャプレン中村信雄司式のもと、誓約式に臨んだ後、公益財団法人近江兄弟社 理事長 三ツ浪健一医師、院長 五月女 隆男医師より歓迎と奨励の言葉を頂きました。

その後、新入職員を代表し、理学療法士の白津 瑠奈さんより挨拶をして頂きました。

今年度も多くの仲間を迎える事ができました。職員一同、知識と技術の習得に努め、地域医療のさらなる発展に貢献できるよう、精進していききたいと思います。

入社おめでとうございます！



入社式を迎えて、入社前の不安が大きかったが、温かく迎えてくださり、自分は最高のスタートを切れました。これからも新人らしく、一步一步進んでいけるよう精進していきたいです。

1病棟看護師 織田 恭輔

素晴らしい入社式を開催していただき、誠にありがとうございました。研修では理念に基づく医療人としての在り方を学び、患者さまと関わる上での責任や自身の課題を認識いたしました。初心を忘れず、研鑽してまいります。
リハビリテーション科 作業療法士 小川 奈津



当院でも新型コロナワクチン接種を実施します！

副院長 前田 憲吾

昨年12月に新型コロナウイルスによる重症肺炎が報告され、1年以上が経ちました。

この間に種々のワクチンが開発され、本邦でもファイザー社のワクチン接種が始められました。このワクチンは、ウイルス構成蛋白の一部の設計図であるメッセンジャーRNA (mRNA) を被接種者細胞内に送り込み、その蛋白を人体内で合成し、それを抗原として免疫担当細胞に認識させて抗体を作るといふ、これまでになかったものです。

新タイプのワクチンとなると、副反応も心配です。注射直後のアナフィラキシー（皮膚紅潮・呼吸困難・動悸など）、注射1-2週間後のアレルギー反応（ギラン・バレー症候群や急性散在性脳脊髄炎など）には要注意です。これまでにアナフィラキシーを起こしたことがある方への接種はお勧めできません。

当院でワクチン接種を受けるには、当院のワクチン・コールセンターでの予約が必要です。接種当日までに、ご自宅でクーポンと一緒に郵送される予診票に必要事項を記入して下さい。当日は、クーポン・予診票・身分証明できるもの（免許証やマイナンバーカードなど）をご持参下さい。これらのいずれかをお持ちにならないと接種できませんのでご注意下さい。



※3月に院内職員で行った模擬訓練の様子です。

生活習慣病について考えよう！

看護師 吉崎 直美

～ Part 2 食べる事を整える ～

「生活習慣病」といえば、高血圧・糖尿病・高脂血症(高コレステロール)が代表的です。

塩分・カロリーの摂りすぎが発端となるケースが多くあります。テレビのCMなどで、これらの数値を整えるための飲料やサプリメントがたくさん紹介されていますが、お1人お1人の体に合わせた適切な調整方法を決めていくことが重要です。

職場や市町村での健診で数値の異常がある場合は、医師に相談しましょう。

そのうえで、食事を朝昼夕の毎日3回、規則正しい時間に食べることによって、生活全体のリズムを整えましょう。仕事を退職したりすると、つつい朝食と昼食が兼用になってしまう人もいますが、いろいろな栄養素をバランスよく摂取するには、やはり食事の回数は3回が適当です。

そして、良くかむことは歯の健康にもつながります。おいしく食べるために「お口の中を整える事も大切」です。歯周病予防の為に年にも1度は歯科受診しましょう。

食事と食事の間のお楽しみ、「おやつ」については自分の体に合わせた取り方を医師と相談して量と質を工夫して頂くことをお勧めします。



近江兄弟社 第116回創立記念式

2021年2月2日（火） 9:30~12:00（ヴォーリズ平和礼拝堂）

当院創立者W.M.ヴォーリズのはじめた事業は現在に至るまで、建築会社、製薬会社、医療福祉、教育分野へと展開していきました。事業体は「近江兄弟社グループ」として今も協力し、ヴォーリズの理念を引き継いでいます。

近江兄弟社では、ヴォーリズが近江八幡に初めて足を踏み入れた日（1905年2月2日）を「創立記念日」としております。この日改めてヴォーリズの理念、そして思いに立ち返り、それぞれの働きの礎としようとの考えです。近江兄弟社で勤続25年を迎えられた社員に祝福と労い、そして感謝の時を催しています。



25年勤続表彰 おめでとうございます。

当財団からは、2名の方が表彰されました。

増田 繁美（看護部）

中江 広美（友愛の家ヴォーリズ）



25年勤続表彰を受け感謝します。介護保険制度も始まっておらず、訪問看護を1から教えてもらい、在宅看護の大切さを知りました。皆さんのおかげでここまで続けてこれたと思います。今後は仕事をしやすい人間関係を大切に、後輩を育てていきたいと思ひます。

友愛の家ヴォーリズ 中江 広美

管理栄養士ようちゃん
おススメ！

たんぱく源の特徴と食べ合わせ

タンパク質は筋肉や臓器などを構成するだけでなく、体の機能を維持するためのホルモンや酵素、神経伝達物質などの源になっています。これが不足すると、新陳代謝の低下や筋肉量の減少などを招きます。タンパク質を摂るといって若い世代の方が必要と思われるがちですが、昨今の研究で老年世代の方が重要ということもわかってきました。今回はいくつかのたんぱく源となる食品の特徴と健康効果を高める食べ合わせ方について紹介します。

<貧血でお悩みの方向け>

牛肉



ビタミンB群、鉄分、亜鉛などのミネラル分も豊富に含まれます。特に鉄分は吸収率が高く、貧血の予防にもおすすめです。



小松菜



小松菜には造血・たんぱく質の合成に欠かせない「葉酸」を豊富に含まれます。また、鉄分も多く含まれます。

<筋力向上したい方向け>

卵



卵のタンパク質には体内で作ることのできない必須アミノ酸をすべて含む良質なたんぱく質です。ビタミン・ミネラルも豊富に含み、滋養強壮に効果的な食材です。



大豆



大豆も良質なたんぱく質を多く含みます。また、たんぱく質の合成に必要なビタミンB6を多く含むことも特徴です。

おすすめのレシピ「卵の袋煮」

<作り方>

- ①油揚げは熱湯をかけて油抜きして半分に切って袋状に開く。
- ②人参を千切りにし、下茹でしておく。
- ③小松菜は茹でてから冷水にとって水気を切って4cm程に切る。
- ④油揚げに②を入れて、その上に卵を割り入れ、爪楊枝で口を閉じる。
- ⑤(A)のだしを煮立たせてから④を入れて弱火で10分程煮る。
- ⑥③を加えてひと煮立ちさせれば完成。

<材料-2人分>

油揚げ 1枚
卵 2個
人参 1/6本
小松菜 60
(A)
だし汁 300ml
砂糖・みりん・醤油
各大さじ 1杯



医師紹介

ホスピス（緩和ケア）

細井 順（ほそい じゅん）



【経歴】

1951年生まれ。

78年大阪医科大学卒業後、自治医科大学消化器一般外科講師を経て、96年から淀川キリスト教病院でホスピスを学びました。2002年より17年まで当院に勤務し、その間、06年にホスピス希望館を開設しました。3年の充電期間を経て、21年に復帰しました。

【抱負】

ホスピス（緩和ケア）はラテン語に由来し、「あたたかなおもてなし」という意味です。ここには、人間には避けることのできない、ある一時期を無難に乗り越えるためのノウハウがあります。死の前では、患者も医者も関係なく人間は誰でも同じです。死には勝てないものです。ただ傍にいて、切ない、やりきれない気持ちを分かち合うことです。そうしていると、不思議と短い限られた時間だからこそという、新たな生き方に気がつくことができます。そのようにして、人は死を乗り越えてきました。

13年、このホスピスを舞台にしたドキュメンタリー映画「いのちがいちばん輝く日～あるホスピス病棟の40日～」（溝淵雅幸監督作品）が劇場公開されました。その反響は大きく、全国にホスピス希望館が知れ渡りました。その責任を感じながら、自らの体験（2004年腎がんで右腎摘出術、20年胃GISTで2度目のがん手術）を顧みつつ、充実して幸福に生きること、死ぬことの伴走者を務めたいと願っています。

ほっとひといきコーナー

ヴォーリス 昆虫記

「蛾」は楽しい??

医師 前田 憲吾

次男と妻が近所の公園の鳥を撮り始め、同じ鳥では芸がないと思い、5年前から公園の虫を対象としました。その中でも蛾が最も多種多様で、その公園だけで720数種が確認できました。蛾は蝶と異なり、大半は夜行性です。効率よく見つけようと、毎朝日の出前にカメラ片手に、夜も明るい公衆トイレにこっそり通いました。不審者極まりない！（笑）あまたの鳥や犬猫愛好家は、「蛾なんて・・・」と虫唾（むしず）が走るでしょうね。味方は平安朝の有名な「虫愛ずる姫君（堤中納言物語）」くらいでしょうか？蛾に関しては初心者ですが、それでも米国産の蛾を見つけて報告しました¹⁾。どんな所にも発見のネタがあるということでしょう。



枯れ葉のようなムラサキシャチホコ



Pyrausta inornatalis



自然の迷彩服ウンモンズズメ

1) 前田憲吾、吉安裕. 滋賀県守山市で採集された北米からの移入種と思われる*Pyrausta inornatalis* (鱗翅目: ツトガ科、ノメイガ亜科) - 日本における2番目の分布記録. 誘蛾燈 240:43-45, 2020.

病院からの お知らせ

◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月に糖尿病、生活習慣病に関して、病気の知識や治療法に関するの教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2021年6月24日(木) 11:30~12:30
場所 新館研修室(病院内) (※時間変更の場合あり)
講師 看護師・管理栄養士

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。
※新型コロナウイルス感染予防の観点から、食事は当面の間中止致します。



近江八幡市介護予防拠点事業

◆ 2021年度 ヴォーリス介護予防教室のご案内

テーマ：『「見る」「聞く」「話す」「食べる」「寝る」力の衰え予防』（年間5回・木曜日開催）

回数	月日	担当	内容	講師予定
1	5/20	ヴォーリス老健センター	「脳トレして脳を活性化しましょう！」	ヴォーリス老健センター 支援相談員 林 誠 氏
2	7/22	在宅サービス部門	「ハーブを育てましょう」	ホームヘルプステーションヴォーリス 係長 北村 恵美子 氏
3	9/16	ヴォーリス記念病院	「高齢者の睡眠の特徴 ～すっきりと目覚めるために～(仮)」	ヴォーリス記念病院 医師 深見 方博 氏
4	11/25	ヴォーリス老健センター	「折り紙で季節を感じましょう」	ヴォーリス老健センター 支援相談員 迫田 修希 氏
5	2/24	ヴォーリス記念病院	『「話す・食べる」力の衰え予防』	ヴォーリス記念病院 言語聴覚士 甲斐 始 氏

－ 日程、講師など変更の場合もございます。最新情報をホームページでご確認ください。－

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：15名
※新型コロナウイルス感染症に対する感染予防に配慮して人数制限をしております。
- ②場所 アンドリュース記念館(旧Y M C A会館) ※近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③開催時間 14:00 ~ 16:00
- ④参加費 無料
- ⑤申し込み 往復ハガキで ①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡用電話番号 を記入の上
〒523-0806 近江八幡市北之庄町492 ヴォーリス記念病院内
介護予防教室係 まで (単月の申し込みも受付します。)

【お問い合わせ】 ホームヘルプステーション ヴォーリス
担当 中上 (TEL: 0748-32-7130 / FAX: 0748-36-5458) まで



地域療養支援部受付

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側でございます。

TEL (0748) 32-5221 / FAX (0748) 36-5412

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課2番窓口にお越し頂くか、お電話(0748-36-5467)下さい。

※ 受付時間：月～土曜日 13:00～17:00 (祝祭日は除く)

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211(代表)

FAX：0748-32-2152(代表)

*シャトル(無料送迎)バスあります。

●編集後記●

今年も沢山の新入職員さんが入社して下さいました。私が素敵だと思える言葉、「和顔愛語(わげんあいご)」は、穏やかな笑顔で、思いやりのある話し方で人に接すること、という意味です。優しさあふれる職場環境で一緒に成長していきたいです。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院